

日曜新聞 昭和十四年十二月八日 第七二七号

石城地方に於ける

近年稀有の旱天

農作物が枯死の状に陥る 井戸の水もかかれて来た

石城地方に於ける今冬の旱天 作で反當千二百貫に對し二割は近年稀有のもので昨年十一月廿二日五六.五ミリ(坪當一石〇斗一升三合餘)の雨らし雨があつたのみで其の後五十餘日に及ぶ今廿七日までの降雨量左記の如く十二月十六日の四.七ミリ(坪當七升餘)を除いては殆んど埃り濕しにもならず乾き切つた地上の作物は麥の發育を妨げ蔬菜類ではキャベツ、豌豆、菜種等を枯死の状に陥らしめ平市近郊の名産葱の如きで、雨なしの爲めに受けてゐる減收は上

平市の公益質屋

漸く一般に利用

開業以來の貸出累計現在額 昨日迄に二千八百八十圓

平市公益質屋は昨年十一月廿六日開業して一般大衆に利便されつゝあるが十二月の業績は入質百八十口、貸出額千六百二十四圓、返済三十九口この金額三百二十八圓で何れも一と口八、九圓と云ふところ一日六、七圓の得意を見てゐるが今一月の貸出は昨二十日までに八十二口、六百七十四圓(一口約七圓五十錢)返済は四十口で三百二十五圓(一口約八圓)を算し利用者は

十六勇士の 合同慰靈祭

石城關係三勇士

新東亞の建設は大和民族の大陸移動によつて始めて達成出来るのだと信じてゐる而して此の民族移動こそは實に我が華國の精神である

町村の協議會

今日は肥料配給で 縣主催の肥料配給統制協議會は廿七日午前十時から石城郡下町村長、産業組合理事、技

農山漁村の更生に 満洲開拓分村運動

本縣經濟更生課の成島技師 今日午後仙台から放送

縣經濟更生課の成島技師は本縣經濟更生運動の生みの親、育ての親として縣下各地に知られてゐるが昭和七年以來の同運動に滿洲開拓分村こそ國策に副ひ農山漁村の更生の促進するものであると昨秋滿洲國の農地を視察するなど分村運動を全国的にまでたかめ様と同期成會の結成等を熱心に説かれてゐるが今二十七日午後五時半から三十分間仙台放送局から右に關し「滿洲開拓と青年の使命」と題して放送される同技師は左記の如く語つてゐる

嚴冬の滿洲視察より

第一信の二

志田生

一月七日(晴) 平城を過ぐる頃より夜明けの寒を眺むることが出来た。朝鮮の民衆の所々に日の丸の旗が翻るのを見て言ひ知れぬ感じがした。新義洲に差し掛かる頃より税關の物品検閲が開始され、安東に二、三分間停車、乗客全員の検査を終りて漸く發車す。此頃より四面の風物大陸的となつた。然し豫想外に雪のないのに驚いた。一路北へ進む、幸天に着く頃には漸く夕暗が迫つて来た。と共に寒氣も加はつて来て二重に閉ざされてゐる汽車の窓は凍結して開やうとするも開かず、辨當を買ふにも人混みと窓の開かざるとにより買ふことは出来ず今日も合戦を行ふ。

警中平商の寒稽

古納會と對抗戰

寒稽古中の警城中學は来る二月一日、同平商學校で二日何れも納會を催し各學級對抗の合戦を行ふ。

戦地の便り

平市新川町出身 高木直意

一段の勇を揮ひ 奮闘いたします

謹啓、酷寒の候と相成りました、東亞の聖業ますます重大のことと思ひます折柄戦後の皆々様も如何ばかり御心勞の事と御察し申上げます、其の御多忙の中にも拘はらず度々の戦線慰問を辱ふし且つまた此の度は多大なる慰問品と共に御慰篤なる御言葉を賜はり只々感謝の御健勝を祈り上げます

楽しいは故郷の話

平市一丁目出身 田口晃

永らく御無沙汰いたし誠に申譯ありません、皆様御壯健にて御活動の事を喜んだで居ります、さて秋も満州

市の大火見舞金を贈つた 機械修繕販賣を 種に八百圓詐欺

石城郡四倉町の本町生れ當時双葉郡浪江町機械商廣瀨龍雄(三)は昨年十一月頃から浪江町を中心に機械修繕並びに販賣を種に六百餘圓を詐欺して姿をくらましたと云ふ

無利物盡して 監督所へ

平土木監督所では管内の諸工事に物資不足で悩まされてゐるが一例を上げると二萬五千圓を豫算して施行中の上野野村文武澤の砂防工事その他にセメントがなくて困つてゐたのを漸く手に入つてこれだ助かつたと昨二十六日所用のトラックで砂を運ばうとする時斯度はガソリンがなくて動かぬ有様にいやもう困つたことだと須藤所長もベソをかへてゐる

植田町警防團の 幹部辞表落着

石城郡植田町警防團が去る二十一日未明町の火災に自動車ポンプの出動が思はずなかつたのと昨年の火災にも同様の失敗があつた爲めに責任感から團長坂本龜太郎氏及び副團長猪狩知氏ほか幹部の連袂辭表提出から成ゆきを注目されてゐるが植田署長、古川町長、警備界等町有士の協議により慰留に決定一と先づ落着することになつた

静岡大火義金の 馨女四年生の

縣立静岡高女の四年生一同は五四四十三圓を募金して静岡

新製 尼子亭 羽子亭 羽子亭 羽子亭

新製ダイヤベン付 ウエル萬年筆 一、五〇以上 商工省主催「代用品工業振興展覧會」出品中込の各種代用品 一萬五千點中萬年筆としてはウエルが唯一の重なる體裁に合格したる新興國貨製品 代理店 魁文堂 電話三三三

御誂の映製品、高島屋洋服店 電話二二二六

庶業者

感謝の伊勢詣

（下）廿三年苦勞の實り
然し十年目の昭和元年度十年間の困苦欠乏に耐へた精勵が酬えられて積立金を以て一町四反の美田を買ひ一戸一反歩宛の分配出来た、高城青年團農家組合に凱歌があがつた十一名は初めて小さいながらも地主となつた、其喜びはまた筆舌に盡し難いものであつたと組合員は當時を追憶して一生忘れ得ないと異口同音に語つてゐる。

この努力がまた總ての生活様式にも反映して種々の弊風が打破されいつとはなしに禁酒禁煙部落となつた、たゞ朝から晩までボロを着て働くこれが更生への信條であつた、冠婚葬祭用として積立金から八百圓を出だし作業場兼公會堂も建つた、

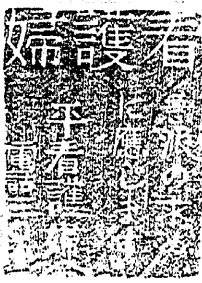
十年の辛抱をさらに一期続けることとして直ちに第二次共同耕作を始め十年後の昭和十二年には三反五畝少の用地を買つた外に積立金が一千數百圓となつた此頃には十一名の人も廿年間の共同耕作の努力が家庭生活の推進力ともなり如實に反映して収入は年々増し山の様な借金を償還した外に各自の耕作面積も三倍してゐたので第二次積立金は特別のもの以外に分配せずとも第三期の共同耕作に乗り出した、そして第二期に積立てたものを其まゝ永世これを積立て部落の備荒資金とすることとした、今では積立金四千圓となつたが組合では廿年間の努力の中にも御神農祖の

念を忘れずむしる神佛の加護の賜と神佛に感謝を捧げ山形縣の最上三山詣りを二回、金華山詣りを一回してゐるので今年には二千六百年を機会に昔から國民一生の念願とされてゐる伊勢詣りをしてそして今年も一生懸命一同ボロを着て働いて増産確保に邁進せよと如實に見せて行くこととなつた（完り）

命の御用肉は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢



附屬産院 新設

妊産婦入院隨意
産科 婦人科
木村病院
平市 新川町
電話 一六四番

診療科目

- 一、齒科一般
保存科、補綴科、矯正科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿瘍科、
- 一、口腔外科
一、レントゲン科

中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本醫學士 藤谷伍郎
主任 佐藤重義
電話 五〇九番
平市田町(松月堂向)

債券、公債 両替、金融 **多田井質店**

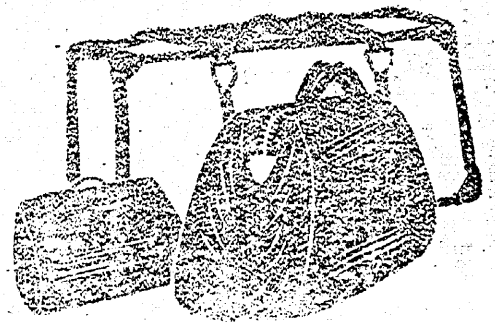
平市大工町 電話 五九一番

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂

平市四丁目(電話二二三番)

カバと洋品類



眞砂屋 (前驛、市平) (り通道新) (話電六) (話五)

電話 五九二番

食 事
喫 茶
酒場を兼ねた。

レストラン サロ

平市銀座街

平田町(三丁目裏川岸通)

明雲堂眼科醫院

入院應需(自炊の便あり) 電話 六六九番

根本産科醫院

平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話 三四番
(入院隨時)

安流丸

請毒下りの大妙藥
安田系統の帝國海上
帝國海上保險株式會社
代理店 關内正一
事務取扱者 阿部助次郎
平市三丁目 電話一六番

和洋結髪

御婚禮着付
貸衣裳、貸か
つらを御利
用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
(徒弟入用)

御婚禮着付

和洋結髪
貸衣裳、貸か
つらを御利
用下さい
何卒御用命の程を
手塚美容院
平市新田町
(徒弟入用)